

令和4年度 第4回 辻堂まちづくり会議 次第

日時 2022年7月21日(木) 13:30~15:30

会場 辻堂市民センター ホール

第一部

- ・辻堂駅南口周辺の渋滞対策(バス路線の変更)について(市都市計画課)
- ・藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針について(市教育総務課)

第二部

1 前回会議議事録の確認について

2 議題

(1) 部会報告、及びディスカッション

くらし安心・安全部会(7/14)、辻堂交流部会(7/7)、福祉部会(7/14)

(2) 広報委員会からの報告

(3) 辻堂ストリートギャラリープロジェクトについて

3 その他

4 今後の予定

- 駅前掲示板作業 8月1日(金) 辻堂交流部会2人
- 辻堂朝市 8月11, 25日(木) 福祉部会3人
- 辻堂写真館 8月11日(木)~
- 辻堂交流部会 8月4日(木) 10時00分~
- 広報委員会 8月18日(木) 9時30分~
- くらし安心・安全部会 8月18日(木) 13時30分~
- 福祉部会 8月18日(木) 13時30分~
- 第5回辻堂まちづくり会議 8月25日(木) 13時30分~

以上

令和4年度 辻堂まちづくり会議 委員名簿

任期：2022年4月1日～2024年3月31日

No.	氏名	役職	部会	委員会	団体名又は公募
1	赤塚 商蔵		くらし安心・安全		辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会
2	山田 泰司	部会長	くらし安心・安全		辻堂地区社会福祉協議会
3	齋間 道雄		くらし安心・安全		辻堂地区青少年育成協力会
4	和田 今日子		辻堂交流		辻堂地区交通安全対策協議会
5	吉田 紀行		辻堂交流		辻堂地区生活環境協議会
6	橋本 美知子		くらし安心・安全		辻堂地区防犯協会
7	小川 雄二郎	副会長	くらし安心・安全	広報	辻堂地区防災協議会
8	近藤 眞由美		福祉		辻堂東地区民生委員児童委員協議会
9	秋葉 誠		くらし安心・安全		辻堂西地区民生委員児童委員協議会
10	伊藤 和子	副会長	福祉	広報	辻堂公民館評議員会
11	鷹野 三枝子		くらし安心・安全		高浜地域子ども支援会議
12	大橋 洲二		福祉		浜見地区社会体育振興協議会
13	中野 由紀子		辻堂交流		辻堂商店会連合会
14	片桐 賢		辻堂交流		辻堂地区老人クラブ連合会
15	松尾 良子		福祉		ネットワーク湘南堂夢
16	富田 直樹		福祉		辻堂東地区いきいきサポートセンター
17	高野 拓弥		福祉		辻堂西地区いきいきサポートセンター
18	北野 範之		福祉		辻堂地区ボランティアセンター
19	山下 美波		福祉		西南部障がい者地域相談支援センター
20	吉田 秀樹		辻堂交流		公募
21	尾崎 文彦	会長	—	広報	公募
22	秋山 正行	副会長／部会長	辻堂交流	広報	公募
23	久保田 恵	委員長	辻堂交流	広報	公募
24	池本 茂男	部会長	福祉		公募
25	堀川 輝夫		辻堂交流		公募
26	千葉 郁世		辻堂交流		公募
27	鶴田 智博		辻堂交流		公募
28	芳山 久美子		辻堂交流		公募

【事務局】

No.	氏名	役職	担当
1	加藤 財英	センター長	統括、全体会議◎、福祉
2	中丸 光江	主幹	全体会議◎、くらし安心・安全、辻堂交流、広報
3	山出 峰士	上級主査	全体会議◎、広報
4	若山 瞭太	主任	全体会議、辻堂交流、広報◎
5	新倉 孝幸	上級主査	くらし安心・安全◎
6	片山 雄貴	主任	辻堂交流◎
7	守谷 千楓音	担当	福祉◎
8	宮木 千春	担当	広報
9	二宮 寿美香	担当	くらし安心・安全

※◎ 主担当

日時	2022年6月23日(木) 13:30 ~ 15:30		
場所	辻堂市民センター ホール		
出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 尾崎会長 <input checked="" type="checkbox"/> 秋山副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 齋間委員 <input checked="" type="checkbox"/> 橋本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鷹野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 片桐委員 <input type="checkbox"/> 高野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(秀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 堀川委員 <input checked="" type="checkbox"/> 芳山委員	<input checked="" type="checkbox"/> 小川副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 赤塚委員 <input checked="" type="checkbox"/> 和田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 近藤委員 <input type="checkbox"/> 大橋委員 <input checked="" type="checkbox"/> 松尾委員 <input checked="" type="checkbox"/> 北野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 久保田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉委員	<input checked="" type="checkbox"/> 伊藤副会長 <input checked="" type="checkbox"/> 山田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 吉田(紀)委員 <input checked="" type="checkbox"/> 秋葉委員 <input type="checkbox"/> 中野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 富田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山下委員 <input checked="" type="checkbox"/> 池本委員 <input checked="" type="checkbox"/> 鶴田委員
事務局	<input checked="" type="checkbox"/> 加藤センター長 <input checked="" type="checkbox"/> 新倉	<input checked="" type="checkbox"/> 中丸主幹 <input checked="" type="checkbox"/> 片山	<input type="checkbox"/> 山出 <input type="checkbox"/> 守谷 <input checked="" type="checkbox"/> 若山
議題等	第一部 1 藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について 第二部 1 前回会議議事録の確認について 2 議題 (1) 部会長の決定 (2) 部会報告、及びディスカッション (3) 広報委員会からの報告 (4) みんなで美化キャンペーンについて (5) 高砂小学校 ムーンショット事業 3 その他 (1) 令和2、3年度辻堂まちづくり会議実績報告書の配布について (2) メールアドレス登録のお願い 4 今後の予定		
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤沢厚木線(辻堂工区)の整備について ・ 令和4年度辻堂まちづくり会議委員名簿 ・ 第2回辻堂まちづくり会議議事録 ・ 第2回くらし安心・安全部会議事録 ・ 第2回辻堂交流部会議事録 ・ 第2回福祉部会議事録 ・ 第2回広報委員会議事録 ・ みんなで美化キャンペーン事業 ポケットパーク回覧 ・ ムーンショット型開発研究制度の概要 ・ 2022年度～世代間交流事業～チラシ ・ 令和2年度～令和3年度 辻堂まちづくり会議 実績報告書 		
傍聴者	2人		

【議事録】

(進行 中丸主幹)

○開会前確認

- (1) 会議の成立に関する報告
- (2) 資料の確認
- (3) 会議進行の確認
- (4) 傍聴の取扱いについて

(進行 尾崎会長)

第一部

1 藤沢厚木線（辻堂工区）の整備について

- ・市道路河川総務課から説明を行った。

藤沢市では、辻堂駅周辺の道路混雑の緩和のため、未整備である都市計画道路藤沢厚木線（辻堂工区）の整備に向け、神奈川県策定『改定・かながわのみちづくり計画』の位置付けをランクアップしたいと考えている。そのために、地元要望が必須であり、地域の声を聞く方法等をまちづくり会議と相談しながら、進めていきたい。

【質疑応答】

- ・線路を越える南北道路が現実的になったのか。また、S S Tの南北線との優先順位はどのように考えているのか。(伊藤委員)

→どのように事業化できるかは、現段階で未定である。道路整備には、長い時間を要するため、順番に進めているのが現状である。また、南北線はS S Tの事業検討と同時に計画されているが、線路北のSONY及び神奈中との交渉次第となり、現在も交渉を進めているところである。優先順位としては、どちらも平行して進めている状況となる。(市道路河川総務課)

- ・地元からの要望を吸い上げると資料にあり、口頭の説明では拾い上げるとあったが、拾い上げたり、吸い上げたりすることが地元の意向となるのか。また、まちづくり会議を通して、地元の意向をまとめ上げることになるのか。(小川委員)

→吸い上げるや拾い上げるという言葉は、不適切であったと考える。市民の意見を「聞く」ということで訂正させていただく。皆さんの声（道路の必要性）を市の立場として聞いて、それを県に伝えていきたい。また、まちづくり会議で聞いた意見を地域の要望とすることはなく、どのような形で誰を対象に意見を聞くかという手段・対象等を相談させていただければと考えている。(市道路河川総務課)

- ・整備推進箇所の現在の進捗状況はどうなっているのか。また、他の地域・自治体で事業化検討箇所から事業化推進箇所にステップアップした際にどのような進め方をしたのか、成功例・失敗例含め、辻堂に似た地域（人口密度が高い所）の事例があれば教えてほしい。(山田委員)

→藤沢市に関係する所の進捗状況としては、横浜湘南道路（栄IC・JCT～藤沢IC）は、令和6年供用開始に向け工事が進んでいる。横浜藤沢線（藤沢市川名～片瀬）は、工事の着手に向け、用地買収等を進めている。(仮称)湘南台寒川線は、どのような形で道路を作るか県が検討を進めている。また、辻堂に似た事例については、今後調べ

- お示ししながら、進めていきたいと考えている（市道路河川総課）
- ・整備推進箇所の進捗状況は一覧表で示していただきたい。（山田委員）
- 県に確認し、お示しできるようにさせていただく。（市道路河川総務課）

第二部

1 前回会議議事録の確認について

- ・資料のとおり

2 議題

(1) 部会長の決定

- ・次のとおり部会長が決定したことを報告した。
 - くらし安心安全部会：山田部会長
 - 辻堂交流部会：秋山部会長
 - 福祉部会：池本部会長

(2) 部会報告、及びディスカッション

- ・各部会長から部会報告をした後、全体を5班に分け、各部会をテーマに10分ずつディスカッションを行った。

班	構成員
1班	尾崎会長、鷹野委員、芳山委員、片桐委員、北野委員
2班	伊藤副会長、秋葉委員、齋間委員、和田委員、千葉委員、池本委員
3班	小川副会長、山田委員、鶴田委員、堀川委員、近藤委員
4班	秋山副会長、橋本委員、吉田(紀)委員、富田委員、山下委員
5班	赤塚委員、吉田(秀)委員、松尾委員、久保田委員

- ・ディスカッションの結果、思ったこと・やってみたく感じたことなどを付箋に記録した。記録内容の詳細については別紙のとおり。
- ・記録した内容は、部会ごとに集約し、次回開催の部会及び全体会議において利用する。

(3) 広報委員会からの報告

- ・久保田委員長から委員会報告を行った。
 - 公民館まつりについては、各部会から担当を2人ずつ選出してもらうよう依頼した。
 - 高砂小学校ムーンショット事業の実施日時が決定したことを報告した。

7月14日(木) 10:45~11:30 (3限)

(4) みんなで美化キャンペーンについて

- ・本事業の参加者の確認を行った。
 - 湘南ニコニコロード：赤塚委員、齋間委員、吉田(紀)委員、片桐委員、富田委員、山下委員、吉田(秀)委員、久保田委員、芳山委員(以上9人)
 - ポケットパーク：赤塚委員、吉田(紀)委員、片桐委員、秋葉委員、北野委員、山下委員、吉田(秀)委員、秋山委員、久保田委員、芳山委員、池本委員、鶴田委員、堀川委員、(以上13人)

(5) 高砂小学校 ムーンショット事業

- ・広報委員会本事業の参加者の確認を行った。
 - 参加者：和田委員、秋葉委員、吉田(秀)委員(以上3人+広報委員5人)

3 その他

(1) 令和2、3年度辻堂まちづくり会議実績報告書の配布について

- ・2年間の実績報告書を配布し、今後の活動に生かしていただきたい旨、説明した。

(2) メールアドレス登録のお願い

- ・前回全体会議にて依頼した、メールアドレスの登録について、未登録の委員へ紙ベースで提出依頼を行った。

※その他

- ・美化キャンの地域回覧が7月10日号では遅いのではないか。(山田委員)
→大変申し訳ない。以後は1ヶ月前に回覧できるように対応する。(事務局)
- ・海浜公園通りの除草は道路維持課だけが行っているのか。また、サツキの植栽の予算は市民センターにあるのか。(山田委員)
→道路維持課で年2回行っており、市民センターでも2回行っている。また、サツキの植栽についても少ない予算であるが、市民センターで植栽を行っている。(事務局)
- ・ポケットパークに水やり場(井戸等)を作ることはできないのか。(山田委員)
→ポケットパークは道路の位置づけでもあるため、担当部局に確認をとる。(事務局)
- ・2年前に試行的にサツキの植え替えを自力で行ったところは、最初は雑草がなくきれいであったが、今日は雑草が生えている状況である。やはりメンテナンスが必須ではないか。(吉田(秀)委員)
- ・サツキの植栽については、市民センターが移転したこともあるのもっと予算取りをしてほしい。(吉田(紀)委員)
- ・サツキの植栽事業については、すべてをまちづくり会議で行うのではなく、どこが最終的に引き受けるのかを考えながら事業検討してほしい。(齋間委員)

4 今後の予定

- 駅前掲示板作業 7月1日(金) ぐらし安心・安全部会2人
- 辻堂朝市 7月14, 28日(木) ぐらし安心・安全部会3人
- みんなで美化キャンペーン
 - 湘南ニコニコロード 7月12日(火) 13時30分～
 - ポケットパーク 7月16日(土) 9時00分～
- 高砂小学校ムーンショット事業 7月14日(木) 10時45分～
- 辻堂交流部会 7月 7日(木) 10時00分～
- 広報委員会 7月14日(木) 9時00分～
- ぐらし安心・安全部会 7月14日(木) 13時30分～
- 福祉部会 7月14日(木) 13時30分～
- 第4回辻堂まちづくり会議 7月21日(木) 13時30分～

以上

ブルーライン
の周知
ルール、活用

くらし安心安全
。マナーアップ、道路
橋柵におり、車の流れ
↓
。バス路線E
もともどして
ほしい

交通問題
1. 安全、安心
維持、改善
2. 交通渋滞
3. 交通事故
4. 環境問題
5. 騒音問題

バス問題
移動難民
歩行者と自転車の接触

「マナーアップキャンペーン」
の実施をしてほしい

1班 くらし安心・安全部会

三車線化 しいは
のあと 8月(通)

明治地区と
連携を!

セシモニ一 最後まひ
是非(あ?) 責任をもち



三車線と
自転車

自転車一方 回覧では 再度周知を!
通行の告知を 忘れなから!
全戸配布を!

くらし安心・安全部会

自転車内題の
取り組み
後、ルール

自転車の得た
アイテム的に
対応を考へる。

自転車のルール
教育が大事!

小学校などで
「自転車の乗り方
安全講習会」を
やってほしい。

3班 くらし安心・安全部会

自転車を
押しこ
行かせる人が
ほとんど”

自転中に
法令上
車輛で押す
進入禁止を守ら
ない”

進入禁止は
気づいてない人
も多いのでは...?

辻堂駅前商店街
の問題はまちづくり
会議だけでは対応
困難...?! 公約は
機関の協力も必要。
「警察は」

道路の話に
ついては具体的な
イメージがわかる。
よくわからぬ...

直路(駅前)

モラルの
内題では
ないか。

4班 くらし安心・安全部会

コミュニティバスが
実現を!!

看板と
まちづくり会議の
提案をうけて、と
入れてもらった。

セレモニーと11月
おも、周知を
兼ねて、キャンペーン
にしてらどうか。

セレモニーお礼
注意喚起を
(自転車、横断
歩道)

5班 くらし安心・安全部会

津波の被災者
(福原工研、授業)

藤沢本(辻堂)海岸
の現状(海岸防波堤)と
把握する→啓蒙

上映した映画は海外の
モノだが日本の現状と
合致しているのか

↓
日本人の消費のしかた
が環境に与える影響

SODASは範囲を広く
せよと理解すべき

SPGの導入の取り組み

交流部会、海防の準備
常設の会議体

他部会と違い専門性が
あるのはいいが、参加の
交流の促進が重要

くさくさ心算と花江川
と河川工事の分野に
交流はいいが、そこを
どうにかして、利益と
環境の両方を目指して
ほしい

3班 辻堂交流部会

海洋プラスチックの
テーマは誰にとっても
身近なものなので
よいと思います

川と海に面している
辻堂では一人ひとりが
ゴミを出さない
意識をより高める
必要がある

グリーン回廊も
10年くらい経つが、
なじみやすいように
アップデートを

なぜプラスチックを
捨てるのはいけないか、
根本的な理解から
啓蒙してほしい

海洋プラスチック問題
は、いざいざ人間に
返ってくることで、
環境に与える影響
が大きいから必要

景品交換の仕組みを
考え直す。
一人が買えばもう一人は
買わなければならない
仕組みにする

4班 辻堂交流部会

美化コンパニ
夏の会あとき。↓
夏の花を植え
らねかー？

5班 辻堂交流部会

人と違うことに打ち
地域への理解

コロナの動向
で「心」が病ん
でいる人の話よ
う。どんなことが
できるか

地域への
人の違うこと
の理解を!!

出立に福祉の発信、経
営に力を入れた 福祉の
普及に力を入れた
人と違うこと
語り部として
街中の福祉活動の見える化

「かどやだより」上映会
ぜひ実現したい。
(見られが、とてもよい
映画でした)
↓高齢の方、子どもさん
との間で「お見送り」も
お見送りも、お見送りも
お見送りも、お見送りも

福祉活動、人の力
が、かどやで、取組んで
お見送りも、お見送りも

1班 福祉部会

「障がい者」の障がいも 言葉は態度 活字に残る
言葉は 持っているし、姿勢にあらわ ので見てあげて
つかかる! 方 ねえ!

公民館まつり
↓
販売の件
↓
協力したい!
住みよいは
↓
心のありようも
あり!

2班 福祉部会

子どもへの教育(視覚、
VR)連携

事業内容的に十分
SDGsの範囲の中に
含めよう

高齢者や障害のある
子どもの貧困対策
大いなる推進が必要

SDGsへの取り組み

部課・事業全体への
「人権」や「社会的責任」
と絡めてどうするか?

認知症高齢者
の支援実証実験
はどうか?

3班 福祉部会

高齢者や認知症の
身近にいない。
→言葉がいつかは
なる可能性がある
身近なものとして
捉えようように。

障がいのある人の
避難訓練結果など、
どんな支援が必要か
未知領域に挑戦しよう
市民の協力も必要!

認知症など
困っている人がいた時
どのようにサポートを
手助けし(らぶ)かを
啓発してほしい。

遊園地区で災害時に
即時に必要な高齢
アフリカの方言と外国
語が分かるように。

4班 福祉部会

あゆみとあそび
バリアフリーには
まず「知ること」
から始めよう。

子供向け
認知症フレンドリー
講座

5班 福祉部会

第2回 辻堂まちづくり会議

(5月26日開催)

ディスカッション結果

高齢化により防災
弱者が住み続ける
ことを知りました

前回全休金で
木造住宅密集地の
存在も知り
対策も急ぐ必要は
も感じました

子どもたちも交通事故
からいかに守るか
できることから(参加)
していけることと思
いました。

災害時に皆人を
避難出来たか
。以夢と云う支援は
何だ？

交通安全、防災、
高齢化...
各世代の目線と課題が
異な。

自分も、淡見川の
地蔵の通り路の
朝の横断歩道の
交差整理しているか
もう少し積極的に
したいと尻。

1班 くらし安心・安全部会

PTAでも
資格も無い)
勝手に見守って
いいの？！
保障も無い！

子どもの見守り
事業 ↓
たこエムあ。こ
いい。

防災協キ会
チームレスキュー
+
子どもから
大人へ
メッセージ

3車線化
↓
明治地区との
連携を！
明信号をつくる。

生活道路の
問題個所の整備
に向けた取組み
要望

高齢者の
防災避難について
どう考えているか

2班 くらし安心・安全部会

近道エナジー
子供エナジー
大人エナジー
エナジー
エナジー

自転車の乗り方
エナジー
大人
子供

(全体)
考2) たいけつ
結果として=511
見本的事業
行うこと大切

防災「経路」
を、馬前でもなく
「どこ」
「経路」
「経路」

(全体)
一方、関係する組織
等、ネットワーク等
に具体的なポイント
の寛政が可能。
具体的な事例を
出せよ

3班 くらし安心・安全部会

自転車
エナジー

子ども
お金の
勉強会

産道不便
コミュニティ
バス
77エナジー

子ども
スマホ
SNS
の勉強会

4班 くらし安心・安全部会

海岸などに
来ている方への
マナー向上の
声かけ

防災
お泊り会

5班 くらし安心・安全部会

地域住民の様々な
団体・イベントの呼びかけ
役割の分担が分かった。

住民に向けた周知の方法
とかが目星がつかない。

直接、市民が参加
できる内容なので、
子どもが楽しめる
内容とPRもするの
いいと思います！

部会の定義につき
もう少し事業の
内容に即した
表現にしては？
例「交流」の側面
など

子育ての目的が
高いなりました

案1月日は新しい
事業アイデアを出
てきたと思っ
ます

美化キャンペーン
はどの位の
回報で行ってい
るの？

途中参加なので
全然わかりません

1班 辻堂交流部会

コロナで我慢
イベント開催
児童館
海岸清掃

私は知らなかった
↓
「広報しなさい！」
↓
活動を知らなかった
T...

オリエンツ
↓ボランティア
人脈生かし
活動も！

朝市について
・専農半漁
・地産地消
・売るだけじゃ
なく是非
主旨PRE!

今年度(2022)
は交流が盛ん
なるよう活動を
望む！

2班 辻堂交流部会

辻堂歴史
重要子歴史大
結構ある。

辻堂歴史
者の辻堂 歩み

辻堂さんぽ
福祉部会
合同茶会
はとうの

子ども食堂 (辻堂)
の仕組みに 認知症
の方にお声かけてもらう
のはどうか。
辻堂に子ども食堂
の需要があるのかの
調査はできないか

「海洋プラ」の問題を
掘り出さず 子どもたち
に戻せよう

3班 辻堂交流部会

ゴミ集め大会

スポゴミ
大会

・スポ ネット
教室

コミュニケーション
ツール

4班 辻堂交流部会

出前
縁側事業
(海浜公園の
食堂)

NEW
辻堂か子夫

5班 辻堂交流部会

福祉部会は市内
で2つのチームを
先行優勝争いした
活動をしてほしい
と思いました

地域の人々の福祉の
ニーズをどう拾い上げ
いくか、地域の人に
届けやすい活動に!

自分も区役所職員と
5年、淡見栄休協
のスポーツ推進委員と
して6年間活動しては
いるが、各種の交流は
参加しているが少くは
活動内容は「理解」が

社協等他協議
会等協同作業
が必要

働く母には保育園
のサポートがあるが、
小学生になるとその
サポートがうまくないと
思うので、そのサポート、
子育ての助けになる

1班 福祉部会

スカスカ
では無い
↓
自然な交流
の機会

中から
↓出るよ!!
出よう!

地域に出る
チャンスをつくら
↓
公民館まり
出展など

放つといふ、おせっかいを
くみ! やりこよう!
↑ ↑
頭をゆるやかに!
両立したい

オンライン
授業
↓
家にもOK!
不登校にもOK!
↓
とんちんか
な生活方を
↓
オンライン
活用しよう!

2班 福祉部会

福祉部会=老人会の
副会長として
副会長として
行政の中心として
社会活動の中心

福祉向けの
認知症フレンドリー
講座を行う
こと

民生委員や「民生委員
の活動の周知を
兼ねて事業を行う。

3班 福祉部会

参加型
の
事業

小、水あり

体験型
の
事業

ケアラー
(家族への
支援)

4班 福祉部会

出前
録側事業
(交流と
の秋まじ)

5班 福祉部会

(開催日時) 2022年(令和4年)7月14日(木) 13時30分～15時40分

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 赤塚委員、山田委員、齋間委員、橋本委員、小川委員、秋葉委員、鷹野委員
事務局: 中丸、二宮

(議題等) 1 今後の事業予定について

- (1) 辻堂まちづくり会議全体会議の意見を踏まえて
- (2) 辻堂地区交通問題事業について
・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

2 その他

- (1) 辻堂小学校のまち歩きについて
- (2) 公民館まつり担当について
- (3) バス路線変更について

〈議題〉

1 今後の事業予定について

(1) 辻堂まちづくり会議全体会議の意見を踏まえて

○2回分のグループディスカッションの結果を踏まえて再度議論いただきたい。また、今回の結果からは自転車関係についての意見が多く出ている。

→本日出た意見をもとに、今年度事業について次回再確認することになった。

(意見等)

- ・前回のグループディスカッションの結果を振り返って、当部会で具体的に取り上げられるテーマはほとんどないと思う。
- ・ディスカッションの時間が少なくあおられている感じがあった。しっかり考えられていないうちに流されてしまって、そんな状態で意見を吸いあげられるのか。
- ・5月の津波避難体験は、地区内のくらし安全に大きく関わるものと受けた。実施後の反省会等もなく、やりっぱなしで終わってしまい不安である。考え直して議題に取り上げてほしい。
- ・グループディスカッションの複数化が気になる。他部会からの意見も大事であるが、自分たちで考えて計画していきたい。
- ・わんわんパトロールは子どもの見守りの一環で、類似して北町町内会にはあいさつ通りがあり、気軽に声をかけられる状況であれば、さらに防犯のアピールになる。お互いに顔を合わせてあいさつができる社会であれば犯罪も減り災害時にも協力できると思う。顔見知りになってあいさつができる地域を作っていきたい。
- ・防災協では、高齢者や要支援者の個別の避難計画の作成に取り組んでいく予定である。実際に動き出したときにはフォローや後押しがほしい。
- ・子どもの見守りを強化するのはどうか。年一回、防犯協会で開催しているが、もう少し増やせないか。
- ・交通事故が起きた場所をデータに基づいて地図におとし、小学校や幼稚園に提供したことがある。

また作成して公的な場所に配り説明してもよいのではないか。

- ・自転車マナーについては、まちづくり会議でできるのか。交対協にお願いするのか。
- ・都市計画道路の関係から、地区内の現状を知る勉強会をしてはどうか。
- ・地区内の道路状況が悪い。道路の陥没など危険箇所が多くある。

(2) 辻堂地区交通問題事業について

- ・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

○道路整備課より、工期は2022年8月31日（水）

新しく道路が完成した時点で、順次一車線ずつ路面標示を実施していき、三車線とも引き終わったら自然開通となる。

※駅前で交通量も多いことから、開通式の実施は難しい。

(意見等)

- ・まちづくり会議で声をあげてこのような形となったのだから、どんなことでもアピールしていきたい。
- ・駅前掲示板にお知らせを貼ってPRするのはどうか。
- ・まちづくり会議の成果として、広報ふじさわや地域回覧でアピールしたい。

→小川委員が作成し、駅前掲示板でPRする。あわせてHPにも掲載する。

2 その他

(1) 辻堂小学校のまち歩きについて

○昨年度に続き辻堂小学校からまち歩きへの協力依頼があり、今回は3年生が対象。今年度についてもぜひ協力をいただきたい。

→当部会で協力することとなった。また、今後のスケジュールとしては次のとおり予定している。

- ・8月：事務局と学校で調整
- ・9月：当部会及び全体会議に報告及び依頼
- ・11月：まち歩き実施（上旬～中旬予定）

(意見等)

- ・実施することはよいと思う。辻堂小ばかりだが、地区内の他の小学校へ声かけはしたのか。

→以前、委員が他の小学校を周り説明したことは聞いている。

- ・学校同士で共有はされているのではないか。
- ・昨年度は先生から丸投げされて困った。協力はするが、テーマ等決めてしっかり打ち合わせをして行ってほしい。

(2) 公民館まつり担当について

○公民館まつりの中でまちづくり会議もブースを出すことから、企画担当2名を選出した。

→赤塚委員、秋葉委員が担当することとなった。

(3) バス路線変更について

○バス路線変更について、地域住民へ8月中に地区内回覧で周知する。また、7/21の全体会議にて都市計画課から説明する旨を報告した。

以上

【次回部会日程】

日時：2022年(令和4年)8月18日(木)

13時30分～15時

令和4年度 第3回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)7月7日(木) 10時~12時30分

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 1 委員 …和田委員、吉田(紀)委員、中野委員、吉田(秀)委員、秋山部会長、久保田委員、堀川委員、千葉委員、鶴田委員、芳山委員

2 事務局 …中丸主幹、片山、若山

(議題等) 1 湘南工科大学授業参加協力の結果報告

2 辻堂ストリートギャラリープロジェクト

3 みんなで美化キャンペーンの最終確認

4 各事業企画案について

5 第5回辻堂写真館進捗

6 その他

(議題)

1 湘南工科大学授業参加協力の結果報告

6月27日(月)の授業テーマ:辻堂ストリートギャラリープロジェクトのテーマプレゼン

前回の授業参加の様子を共有し、次回8月1日(月)の授業参加について参加者(和田委員、吉田(秀)委員、堀川委員、千葉委員)を決定した。また、授業後に中尾教授と辻堂ストリートギャラリープロジェクトについて意見交換し、次の意見があった。

- ・辻堂の色に着目するなど、興味深いテーマがあったが、その中でも「辻堂植物図鑑」というテーマが特に良かった。
- ・昨年度は180mに約5m間隔で40本のフラッグを掲出していたが、今年度は見栄えを考慮して100mに約3m間隔で30本のフラッグを掲出したい。
- ・今は湘南ニコニコロードだけで開催している事業だが、より多くの人目に留まることを目的に、ポケットパークや駅前商店街など、会場を増やしてみてもどうか。時期をずらしながら各会場で掲出していく形でも意味があると思う。

2 辻堂ストリートギャラリープロジェクト

1の意見交換の結果を踏まえ、今年度第1回目の事業企画を企画案をもとに決定し、今後のスケジュールを共有した。

テーマ:辻堂植物図鑑

写真公募期間:8月5日(月)~9月5日(月)※広報ふじさわ8月10日号に合わせて回覧し募集

フラッグ掲出期間:10月18日(火)~11月30日(水)まで

※広報ふじさわ10月10日号に合わせて回覧し周知

企画の詳細についての決定事項

- (1) 写真は今時期に撮影したものに限らず、過去に撮影したものも可とする。
- (2) 掲出本数は30本とし、選考が必要な場合は、9月8日(木)の辻堂交流部会での委員選考後、中尾教授に選考とトリミングを依頼する。
- (3) フラッグにするのは30本だが、ホームページには応募のあった写真をすべて載せる。

なお、写真公募用のチラシの校正は7月15日(金)までとした。

また、ポケットパーク等の別会場での開催は検討案件とし、別会場の開催に合わせてフラッグの返却についてもやり方を検討することとした。

3 みんなで美化キャンペーンの最終確認

開催日時や当日の流れを確認し、湘南ニコニコロードでの実施における参加者のグループ分けを行った。

グループA：吉田（紀）委員、久保田委員

グループB：片桐委員、芳山委員

グループC：吉田（秀）委員

開催あいさつ：湘南ニコニコロード→尾崎会長

ポケットパーク→秋山部会長

終了あいさつ：辻堂地区生活環境協議会 吉田会長

高浜地域子ども支援会議 今福議長

ご参加いただいた各自治会・町内会長

4 各事業企画案について

(1) 海にまつわる3事業

映画上映会、サップ体験、漂着物を使ったワークショップの3事業について、企画案を作成した委員から大まかな説明を行った。7月21日（木）の全体会議までに各自読み込んでもらい、グループディスカッションで他部会の委員からも意見を吸い上げてもらうこととした。

なお、3事業の企画に関して次のとおり意見があった。

- ・いずれの事業も開催後に参加者から感想を集めて、今後の事業に生かすべき
- ・SDGsをテーマに事業をする上で、まちづくり会議委員のSDGsに対する理解度は重要。事業開始前にまちづくり委員を対象とした、勉強会が必要ではないか。
- ・事業を開催しながら、参加者と一緒にまちづくり会議委員もSDGsについて、勉強していてもよいと思う。
- ・SDGsについて活動している人（鵜沼石上のエコストアパパラギの武本さんや、神奈川県環境科学センターの坂本さんなど）を講師に招いて勉強会してはどうか。

(2) 辻堂さんぽ

企画案を作成した委員から説明を行い、今後の予定を確認した。各自読み込んでもらい、次回8月4日（木）の辻堂交流部会で企画案を最終決定し、その内容で福祉部会と8月18日（木）に合同会議することとなった。合同会議の参加者は次回確認するので、予定の調整を依頼した。また景品の調達先である辻堂地区商店会連合会でも企画案の頭出しをしてもらうことが決定した。

5 第5回辻堂寫真館進捗

第5回テーマ：バス通り裏

取材の進捗状況を共有しつつ、今後のスケジュールを確認した。

7月27日（水）～29日（金）：チラシ・記事の校正

→参加者：吉田（秀）委員、久保田委員、鶴田委員

8月10日（水）午前中：展示作業 ※参加者は次回の辻堂交流部会で決定する。

6 その他

公民館まつりの辻堂交流部会から選出する2名（千葉委員、堀川委員）を決定した。

また、令和4年度藤沢市子どもお出かけ応援事業について、クーポンの対象事業に地域のお祭りは対象にできないものかと意見あり。すでに準備が進んでいる事業であり、今からどうにかするのは難しいかと思うが、事業の主旨等確認することとし、担当課へこういう意見があったことを情報共有することとした。

7 その他（今後の予定）

駅前掲示板の担当者を選出した。

8月1日（金）の駅前掲示板：秋山部会長、芳山委員

【次回部会日程】

日時：2022年8月4日（木）

10時～11時30分頃

会場：辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

令和4年度 第3回 辻堂まちづくり会議福祉部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)7月14日(木) 13:30~15:00

(開催場所) 辻堂市民センター 音楽室

(出席者) 近藤委員、伊藤委員、松尾委員、富田委員、北野委員、山下委員、池本部長、尾崎会長

(事務局) 辻堂市民センター 加藤、守谷
地域共生社会推進室 佐藤

(議題等) 1. 福祉部会の今後の取組について
2. その他

(議題)

1. 福祉部会の今後の取組について

(1) 今後、様々な事業を行っていく上での参考とするため、LGBTQに関する研修動画を視聴した。

(2) 言葉の表現について

6/23の全体会にて、「障がい者」という表現についての指摘があったことを受け、各委員の意見を共有した。

【意見等】

まずこのことを考えるにあたって、「しょうがい」という言葉をどう表現するのか、そして「しょうがい」に「者」や、「ある人」など、どのような言葉をつけるのか、という2つの視点があると考えます。

1つ目の「しょうがい」の表現について、まず藤沢市については、「障がい」という表現を数年前に決まっております、「障がい者地域相談支援センターつむぎ」についても市の取決めに基づいている。

「しょうがい」をどう表現するかに関しては、平成22年に厚労省で議論がされており、様々な専門的方々の意見を聴き、検討しているという経過がある。取り上げられた議題の中で、2つの観点がある。

まず、そもそも「しょうがい」とは、本人に起因するものではなく、社会生活を送るうえで困難となるものを指しており、本人と社会との間に生じるもの、社会の中にあるものが「障がい」である、ということが「障がい者権利条約」で国際的に前提となっている。このような考え方を社会モデルという。

また、病気などを要因に本人が社会生活に困っているという、本人の中に理由があるという捉え方もあり、これを医学モデルという。

現代の世の中の考え方として、社会のほうに生きづらさがある、という社会モデルの考え方になっている。そのような、「しょうがい」が本人にあるものではない、という観点から考えると、「がい」の字については、どの文字(がい、害、碍)を使ってもよいのではないかと考えが広まっている。

しかし、「害」という文字はマイナスなイメージを持ちやすいということもあり、ひらがなにすると自治体や団体も多い。

2つ目の障がいに「者」をつける、ということに関しては、「障がい者」とすると対比する言葉として「健常者」を想像されやすい。それは人を区別するように感じるため、共生社会という視点で考えると適していないように感じる。本人を示す言葉ではなく、社会に障がいがあるという視点で考えるのであれば、「障がいのある人、生きづらさのある人」という言い方のほうがピンとくる。

この表現に関して調べている中で、ある当事者へのアンケートの結果を見てみると、「言葉の是非よりもこころ」、「どういう想いをもってこの言葉表現するのが大事」、と考える人が9割という結果だった。このように、言葉にこだわる必要はないと考える人も多くいる。福祉部会、まちづくり会議で表現を決めていく、となった時に、当事者の方抜きには決めかねるという点もあると思う。自分たちよがりにならないよう表現していくことが適切であると思う。今日急に決めるようなものではなく、丁寧な作業をしたうえで、表現していくことが大切であると思う。

- ・テレビ等では「障がいのある方」と表現されていることが多いと感じる。まちづくり会議の中で、資料などを作成する際の表現として、「障がいのある方」とするのが妥当と考える。
- ・障がいの様々な団体があるが、所属されている方々が「障がい者の団体」と呼ばれることに対してどのように思っているのか聞いてみたい。障がいのある方から、不自由はあるが不幸ではない、という話をよく聞く。言葉の表現に関してどう感じているのかは聞いたことがなかったため、判断材料としてご本人たちの意見を参考にしてもよいと思う。
- ・遊びリパークリノアの横川さんからは、「リノア子どもたち」と呼んでほしいと聞いたことがある。当事者の方々からこう呼んでほしい、と言ってもらえるとこちらも表現しやすいと感じた。
- ・使う場面や、使うときの気持ちが大切であると思う。ここで今までの大きく表現を変えてしまうと、啓発という観点では浸透しにくいと思う。福祉部会としてこういった気持ち、想いをもって表現している、という考えがあることが大切であると思う。
また、社会から障がいを被っているという社会モデルの考えから、あえて「障害」と表現する方もいる。人それぞれどう表現するかは違うので、統一するというのは難しい。今回のような議論を通して、こういった表現をしている、という柱があることが一番重要であると思う。
- ・呼び方については、日々考え、自問自答しながら言葉を選んでいくべきであると思う。
- ・スポーツだと、「パラリンピック」という表現があり、誰もがわかりやすい。
- ・障がいは個性だ、と言う人がよくいるが、個性であるかどうかは周囲が決めるものではなく、本人が決めるものであると思う。本人がこれは個性です、というのはよいと思うが、ほかの人があなたの個性だよ、というのは違和感がある。同じ考えで、「しょうがい」をどう表現するかは周囲が決めて、押し付けるものではないと思う。個人や団体それぞれの表現を尊重することが大切であると思う。
- ・互いの心の持ち方によって表現が変わるし、「しょうがい」という表現自体もなくなることもありうる。
- ・それぞれの気持ちの問題であり、互いを対等に思い、尊重ができれば言葉にこだわる必要はないと思う。

- ・障がい者と健常者という表現はいつ、だれが作ったのかと疑問に思っており、そういった表現に関して違和感を感じている。「障がい」という言葉が定着している中で、新しい呼称を決めることは難しいため、どういう想いをもって表現している、という明確な意識があることが重要であると考えます。
- ・LGBTQの動画の中にもあったように、生き方や幸せは人それぞれであると思う。障がいのある方についても、先天性であっても後天性であってもその世界観が普通であり、幸せであり、その人にとっては健常であると思う。

→一般的に多く使われている点と、社会に障がいがある、という観点から、福祉部会では「障がいのある方・人」と表現するが、状況に応じて臨機応変に表現を変えていく。

(3) 福祉部会事業予定表に基づき、今後の予定確認等を行った。

・公民館まつりについて

- ①全体会のブースで展示するパネルについては、池本委員・松尾委員が全体の公民館まつり担当者の話合いに参加し、福祉部会へ周知することとする。
 - ②障がいのある人や事業所から作品を募り、販売・啓発ブースを行いたいという案については、次回部会までに地区内の方々に声掛けを行い、検討していくこととした。
- 販売場所については、まちづくり会議全体会のブースとは別に、体育室内に長机2つ分のスペースが確保できることを公民館に確認している。

・世代間交流事業について

8/30に行われる「すこやか」の訪問については、富田委員が参加することとなった。

・絵ほん語り公演について

出演者の公演の準備に3か月程度かかることから、題材や開催場所の検討を次回以降確認し、開催を依頼することとした。内容については、絵本にこだわっているわけではないということで、小説などでも行っているとのことだった。

・さんわーくかぐや 映画「かぐやびより」上映会について

前回部会で意見のあった、善行地区にある「さんわーくかぐや」の映画上映について、参加者がある程度募ることができれば、開催可能であると確認が取れている。今後の部会で、開催可否や開催場所について検討していくこととした。

・認知症フレンドリーキッズ授業について

朝日新聞から取り寄せた資料について共有した。開催可否の判断について期限はなく、講師の都合が合う日程であれば来ていただけることとなっている。次回以降検討していくこととする。

2. その他

・朝市、駅前掲示板について

来月以降福祉部会が担当する朝市、駅前掲示板について、参加者を決定した。

(朝市) 8/11: 近藤委員、池本委員 (北野委員)

(朝市) 8/25: 松尾委員、山下委員、富田委員

(駅前掲示板) 9/1: 伊藤委員

以上

次回部会: 2022年8月18日(木) 13時30分～

令和4年度 第3回 広報委員会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)7月14日(木) 9:00~10:00

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 尾崎委員、久保田委員、伊藤委員、小川委員、秋山委員

事務局: 中丸、山出、若山、宮木

- (議題等)
- 1 オンラインcaféについて
 - 2 辻堂公民館まつりの出展について
 - 3 駅前掲示板の活用について

〈議題〉

1 オンラインcafé

◎本日の高砂小学校ムーンショット型研究開発制度講演について、スケジュールの確認を行った。

2 辻堂公民館まつりの出展について

◎各部会まつり担当者は7月21日(木)第4回全体会議終了後に第1回検討委員会を開催する。

くらし安心・安全部会: 赤塚委員、秋葉委員

辻堂交流部会: 千葉委員、堀川委員

福祉部会: 池本委員、松尾委員

※広報委員会からは、久保田委員長、尾崎会長が検討委員会に参加

【意見等】

- ・出展物については、部会ごとの掲示と、来場者が参加できる形にしてはどうか。
- ・缶バッチ、シール、消しゴム等参加賞を配布してはどうか。
→在庫の確認をしておく。在庫数【缶バッチ(1000個)シール(400枚)】
- ・検討委員会の意見を尊重しながら進めていってはどうか。

3 駅前掲示板の活用について

◎駅前掲示板のサークル利用に偏りがあるため、再度サークルに案内を配布し利用について周知をする。また、もう少しわかりやすい利用案内を作成し、周知の際には一緒に配布する。

◎駅前掲示板の飾り等について、協力していただける方がいるので、協力をお願いすることで久保田委員が動いていく。

【意見等】

- ・駅前掲示板の利用案内について、目的等を明確に記載するなど再検討し、わかりやすいチラシを配布したほうが良い。
- ・掲示の用紙のサイズや、内容等についても再検討してほしい。
→今回は飾りのリニューアルをしていただき、今後、利用案内、利用規約について検討していきたい。

以上

【次回部会日程】

日時：2022年(令和4年)8月18日(木)

9時30分～11時00分頃

回覧

辻堂ストリートギャラリープロジェクト(第3回) 写真募集
あるいて。みつめて。

子ども
カメラマン
大歓迎!



辻堂植物図鑑



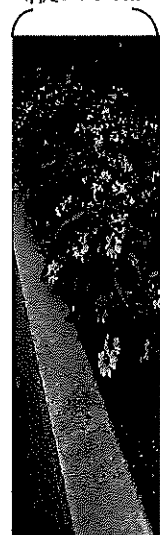
辻堂の植物…皆さんは何を思い浮かべますか?木でも花でもはたまた雑草でも構いません。公園、家庭菜園、あるいは道端…辻堂の各所で、そこにあった当時の写真でもいいのです。皆さんのお気に入りの1枚を集めて、辻堂植物図鑑を完成させましょう!

応募いただいた写真のなかから、30作品をフラッグサイズにトリミングした後、フラッグに印刷し、湘南ニコニコロード※に10月中旬ごろ展示します。

フラッグにならなかった写真も、藤沢市ホームページに掲載いたします。

※湘南ニコニコロードは高砂小、高浜中、浜見小、白浜養護学校の間の道です。

縦:45cm



横:150cm

※写真は
このサイズ
に加工され、
フラッグに
なります。

フラッグイメージ

応募期間 2022年8月5日(金)～9月5日(月)

応募方法 メールに①作品タイトル名②作品説明(撮影場所・撮影日・コメント)③お名前をご記入のうえ、写真データを添付してお送りください。

※応募は一人1点のみとします。

※写真のサイズは15MB以内でJPG形式でお送りください。

※応募多数の場合は選考委員会にて審査し、展示作品を決定します。

※採用された方には、9月後半にご応募いただいたメールアドレスにご連絡いたします。また、展示したフラッグをプレゼントします。

※応募先のメールアドレスは、fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jpになります。



【主催】 辻堂まちづくり会議

【協力】 湘南工科大学

【問合せ】 辻堂市民センター

電話(0466)34-8661

メール fj-tsuji-c@city.fujisawa.lg.jp



詳細(作品例)は
HPもご覧ください!